

水辺のにぎわい考える

中区 女性起業家ら意見交換

官民連携で県西部の
水辺のにぎわいづく
りを目指す国土交通
省浜松河川国道事務所



水辺の活用について意見を交わす女性起業家ら
＝浜松市中区のアクトシティ浜松

のプロジェクト「ミズベリング遠江」（静岡新聞社・静岡放送後援）の会合が15日、浜松市中区のアクトシティ浜松で開かれた。「バレンタイン会議」と題して女性起業家らによるトークセッションを行い、行政や企業関係者ら約70人が出席した。

市内で活動する起業家やNPO法人の代表ら女性4人が水辺の活用について意見を交わした。がん患者向けケア用品の販売を行う佐藤真琴さん（40）は「河川敷の雑草を高齢の自治会員が一生懸命除草しているのが現状。川が社会資源として見なされるためには、投資したくなるような価値をPRする必要があり」と訴えた。「川で子どもを遊ばせたくても怖いイメージがある」「若い世代に資源としての魅力が伝わっていない」などと女性ならではの指摘もあった。

| | | | | | | |
|-----------------|----|-----|-----|----|----|----|
| 平成29年2月16日(木曜日) | | | | | | |
| 朝刊 | 夕刊 | 全国版 | 地方版 | 19 | 面 | |
| 朝日 | 毎日 | 読売 | 中日 | 日経 | 静岡 | 産経 |
| | | | | | 建通 | |